



「能楽体験教室」が行われました

8月30日、グリムの館において、『しもつけ薪能』出演者によるワークショップ①能楽体験教室が行われました。石橋高校出身で下野市にゆかりのある能楽師、山中一馬先生を講師に招き、能楽のおはなし等をご講義いただき、能面体験や能舞台の歩き方などを体験しました。中でも、仕舞「土蜘蛛（つちぐも）」のクライマックスシーンで使用する“くもの糸”を実際に投げしてみる体験は、とても迫力がありました。



下野市民生委員児童委員の2氏が 栃木県知事、栃木県社協会長表彰受賞

第20回栃木県民福祉のつどいが8月28日、宇都宮市文化会館にて行われ、民生委員児童委員の横溝トシ子さん（国分寺地区）が栃木県知事表彰、石田浩一さん（石橋地区）が栃木県社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。お二人は、長年にわたり地域住民の立場に立って相談・援助を行い、社会福祉の増進に尽力されています。



栃木県・下野市総合防災訓練

もう一度防災について考える

8月31日、国分寺運動公園において、消防・警察・自衛隊などの防災関係機関や民間団体との合同で、栃木県と共催による栃木県・下野市防災訓練が行われました。訓練は、栃木県南部を震源とするマグニチュード7.3、震度7の地震が発生したという想定のもと、災害対応訓練や防災啓発などさまざまな訓練が行われました。

この日は、約1300名が訓練に参加し、見学者と合わせて約5800名が来場しました。会場では住民による避難訓練や倒壊家屋からの救助訓練、下野市消防団による放水訓練等が行われ、災害に備えることの大切さについて改めて認識しました。